

## 白ねぎ生産者大会を盛大に開催

【平成 28 年 9 月 2 日 掲載】

8 月 23 日， J A 広島北部本店（安芸高田市）にて， 広島県園芸振興協会（事務局： J A 全農ひろしま）主催の「白ねぎ生産者大会」が開催され， 県内各地から約 200 人が出席しました。白ねぎは平成 27 年度の面積が 5 年前の 2 倍の 42ha となり， 販売額も 1.6 億円となっています。今後販売額を増やしていくためには， ①長期・定量出荷， ②単収の向上が必要となっています。

大会では， 最初に平成 27 年度出荷販売状況と 28 年度販売計画について報告があり， 平成 30 年度には出荷量 1,193 t（平成 27 年度比 222%）， 販売額 3.6 億円（同比 220%）， 面積 81ha（同比 192%）を目指すことを確認しました。

次に， 先進地事例として J A 広島北部より「堆肥大量施用による収量向上試験」「大苗定植による早期出荷技術」が紹介されました。

また， 西部農業技術指導所は「軽労化・効率化技術の紹介」として， 実証中である機械化一貫体系と出荷調製作業の効率化について事例を交えて紹介しました。さらに， 北部農業技術指導所より今後の生産・管理についての情報提供がありました。 J A 広島中央会からは， 栽培・出荷調製に関わる機械導入に対する J A グループ独自の補助事業の説明がありました。

最後に安芸高田市の（株）ハラダファーム本多（本多正樹（ほんだまさき）代表取締役， 経営面積 48.5ha）の白ねぎ圃場（1.3ha）を視察しました。生育の良い圃場を見た生産者は， 一層の白ねぎ栽培技術向上に向けた決意を新たにしました。



【熱心に聴講する生産者】



【2 班に分かれて圃場視察】